# ■「宿泊税」ココが問題

## 「県内経済は順調に回復している」というが…

### ●宿泊客数は回復途上

県「観光統計概要」によると、宿泊者数は2019年に県全体で989万人の過去最高を記録するも、その後コロナで約6割に激減。22年にやっと79%に回復し、23年の速報値で95.3%と、まだまだ回復途上というのが現状です。宿泊事業者からは、「宿泊税の導入でお客さんが隣接県に流れてしまう」と懸念の声があがっています。

### ●宿泊事業者の深刻な経営実態

「コロナ禍で宿泊産業はボロボロ。補助金で息を永らえてきたが、財務状況も悪く累積赤字」「大震災時の借入金返済に加え、ゼロゼロ融資の返済も始まった」「人手不足でお客さんを目いっぱい受け入れられない」「物価高騰で仕入れが大変」など、党県議団のヒヤリングでは深刻な経営実態が次々と。こういう経営環境での宿泊税の導入は、更にリスクを強いるものとなります。

## 宿泊税300円をめぐる不満、疑問の数々

宿泊事業者からは、「料金を下げたとたんに予約が入るくらいお客さんは料金にシビアなのに300円は大きい」「連泊するほど宿泊税がかさむ」という不満や、「税を徴収するフロントの負担が大きい」「外国人にはどう説明するのか」「お客さんから徴収できなければ身銭をきるのか」

宿泊事業者と日本共産党県議団・松島町議の意見交換会（5 月・松島）

「カード払いのとき手数料負担はどうするのか」という疑問が続出。これら切実な声に県は真正面から答えていません。

## 宿泊税導入で宿泊客数は増えるのか?

震災前には７億円程度だった県の観光関連予算。震災後は復興財源等を使い、最高24億円（2018年度及び2019年度）もの予算を投入。ところが、宿泊事業者からは「巨額の予算を投入しても、お客さんが増えた実感がない」という声。

県は、予算の投入により2019年に宿泊観光客数が過去最高の989万人になったと説明しています。たしかに震災前の2010年と19年を比べると、県全体では184万人増えていますが、そのうち大きく増えたのは旧仙台市（仙台市中心部）くらい。24億円投入しても、松島、二口峡谷、鳴子温泉郷、気仙沼など地方の名だたる観光地は宿泊客が減っているのです（表２）。

表2.　宮城県の主な観光地の宿泊観光客入込数の推移

（宮城県「観光統計概要」から党県議団が作成）

| | 2010 年 | 2019 年 | 19/10 比 | 2022 年 | 22/19 比 | 22/10 比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 蔵王 | 557,179 | 592,341 | 106.3% | 424,367 | 71.6% | 76.2% |
| 旧仙台市 | 3,357,592 | 4,892,986 | 145.7% | 3,801,043 | 77.7% | 113.2% |
| 松島 | 744,949 | 629,216 | 84.5% | 470,054 | 74.7% | 63.1% |
| 二口峡谷 | 1,085,858 | 1,069,305 | 98.5% | 744,594 | 69.6% | 68.6% |
| 鳴子温泉郷 | 734,900 | 530,100 | 72.1% | 375,900 | 70.9% | 51.1% |
| 石巻 | 311,269 | 378,992 | 121.8% | 313,355 | 82.7% | 100.7% |
| 気仙沼 | 440,916 | 416,198 | 94.4% | 395,609 | 95.1% | 89.7% |
| 全県合計 | 8,047,141 | 9,887,653 | 122.9% | 7,781,214 | 78.7% | 96.7% |

＊二口峡谷（秋保・作並・奥新川）、気仙沼（気仙沼・唐桑半島・南三陸海岸）
★蔵王から気仙沼は抜粋のため、その合計と全県合計は一致しない。

# ■ 宿泊事業者の理解なしに「宿泊税」導入は許されない

「宿泊税」について、当初「反対しているのは気仙沼・南三陸と鳴子だけ」と知事。しかし7月８日には、県ホテル旅館生活衛生同業組合や温泉旅館組合の16支部（気仙沼・登米栗原・鳴子・東鳴子・川渡・中山平・鬼首・黒川・松島・塩竈・仙台・作並・遠刈田・青根・小原・角田）と日本旅館協会県支部、「みやぎおかみ会」の１８団体が連名で「宿泊税導入に反対する要望書」を提出しました。宿泊税への反対運動を担う「宮城県・宿泊税を憂慮する会」も結成されました。

## 全員の理解がなくても導入 !?

6月議会で自民党議員の質問に、知事は「共感と納得が重要」と答えていましたが、その後の定例会見で「一人でも多くの方に理解を得られるように努力はするが、宿泊事業者全員の理解がないと何もやらないということにはならない」と発言。当事者無視も甚だしい態度です。

共感も納得も得られない宿泊税はキッパリ断念すべきです。